

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業～あなたに会えてよかった～」

黒部市立三日市小学校

平成23年9月29日実施

水島先生は、黒部市立荻生小学校（平成23年7月1日）、黒部市立田家小学校（平成23年11月22日）、滑川市立東加積小学校（平成23年12月2日）、朝日町立五箇庄小学校（平成23年12月8日）、黒部市立宇奈月小学校（平成24年2月15日）、朝日町立さみさと小学校（平成24年2月15日）、朝日町立あさひ野小学校（平成24年2月17日）、においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

水島 香苗先生

・あわの産婦人科医院師長、助産師

ぼくは今回の授業を受けて、お母さんが赤ちゃんを産むのはとても大変なことなんだと思いました。赤ちゃんを産んだ片に話を聞かせてもらったら、赤ちゃんを産んだ時の大変さやうれしさがよくわかりました。

【授業の概要】

- 1 助産師になるまで
- 2 胎児の成長の様子
- 3 いのちのつながり
- 4 お産場面のスライド視聴
- 5 赤ちゃんの母親の言葉
- 6 少年兵の実態

生まれてから今まで、いろいろな人に迷惑をかけてきたし、これからも迷惑をかけるかもしれないけど、生まれてきてよかったと思いました。いのちは大切なんだなと思いました。



今日、赤ちゃんをだっこさせてもらって、「私もこんなときがあったんだなあ。」と思いました。水島先生のお話は、とてもわかりやすかったです。私は、しっかりと夢をもって生きていこうと思いました。今もっている夢をかなえられるようにがんばりたいです。



いのちの勉強をして、命って大切なんだなあと思いました。これから、命をもっともっと大切にしていこうと思いました。また、今日、赤ちゃんとふれあって、赤ちゃんがかわいいなあと思いました。赤ちゃんは、ぼくのめがねを不思議そうに見ている、本当にかわいなあと思いました。